

とは申候もの、何とか監督指導の方法も可有之筋と存候得共、特別市制を主張する東京市に敬意を表したるものか、一向監督も振はず路政の爲寔に遺憾とする所に御座候。

本會創立の議あるや萬難を排して、之が成立に幹旋奔走せられ、其の成立後も久しく常務理事とし將た副會長として本會の爲に日夜盡瘁せられたる、堀田貫氏は不幸客年未より病魔の襲ふ所となり、靜養に努められ爲めに、昨今は非常に輕快に赴きしに今回一層靜養するが爲めに次官を退かるゝことと相成候は邦家の爲め寔に遺憾とする所に御座候併しながら之が爲に各種の地位は悉く辭退せられたるにも拘らず獨り本會のみは副會長として従前通り盡力を煩すこと、なれるは誠に結構の事に御座候吾人は一日も早く全快の上舊倍の活動あらむことを切に祈申候前號に御約束致置候郡道處分は客年十月滋賀縣の申請を審査したるを始めとし、客月福岡縣の申請を審査したるを以て終了したる趣に有之候、其の結果は新に府縣道に認定したるもの約八千八百里にして、之と従來の府縣道と合するときは實に延長二萬

八百里の多きに達し申候、道路の外延的擴張も固より不可なる次第には無之候得共、在來府縣道の實質的改良をも計畫せずして、更に外延的の擴張を圖るが如きは一考を要すべき義と被存候、内務省に於ける路線認定の審査が、府縣財政上新に認定すべき道路を維持經營するに必要な經費を支辨する能力あるやをも併せ審査したるは最も至極と被存候、某縣の如きは縣の財力足らざるに拘はらず、多數の路線を認定するが爲、郡道時代に要したる維持修繕費すらも支出し能はざるもの有之哉の由にて當局は是等のものに對しては認定に斟酌を加へたる趣聞及候、此の如き多數の道路が果して永久に府縣費を以て維持し得らるべきや、又道路構造令の期待する規格に改築し得らるべきや頗る疑問とする所に有之候當局の謂ふ所に依れば數年ならずして自發的に道路整理問題を提出するならむとの事に有之候吾人の所望は必ずしも消極的政策に無之候得共徒に名を府縣道とし其の内容の充實せざる道路の存在する事を遺憾とするものに有之候希くは路線認定の場合に奮闘せられたる勇氣と自信とを以て今後は名實相伴ふ道路の

改良に盡瘁せられむことを偏に希望する所に御座候毎年内務省に開催せらるべき地方土木主任官會議も本年は附議すべき事項尠き故を以て之を見合すこととに内定したるやに聞及候得共地方土木事務を擔任する者が一年一回會合して一年間に經驗したる行政上技術上に關する事項を互に論議するは地方土木行政を進歩發達せしむる所以にして、世上にありふれたる形式的の會合とは異なる此會議を見合せられたるは積極的なるべき土木行政に何となく淋しさを相覺え申候 敬具

富山より

大正十二年の路政上最も重要視せられたる郡道處分問題も、幸に大部分府縣道に認定することとして極めて順調に進捗致し、既に殆んど其の終結を告ぐるに至り申候は、國家の爲寔に慶賀すべきことに候。たゞ僅かに一部分、實地踏査を要するもの有之小生は岩澤内務技師と共に當富山縣下に出張目下各線の實地踏査中に御座候。

扱て、予が富山に乗り込み候て、劈頭最も同情の

に堪えざりしは、今回の道路視察に對する縣民の態度にて御座候。我々の實査致候路線は、縣下各郡に涉つて其の數二十三線に及び候が、農繁の時期猫の手も欲しいといふ、かの忙しい折柄に、いづれの地方も、競ふての歡迎振りに候。之れ何故なるぞ、殊にその有志諸氏の羽織袴の盛裝をもつて、路傍に堵列せるの熱誠に至つては、たゞ、傷み入るのみ候。加ふるに其の標榜する所が實にうるはしいのである。しかも其の主義の比較的縣下に普く、隨所異口同音に之を聽かされたのも頼もしい、たゞ餘りにくどいのは、聊か純真を害する氣分がせられ申候。第二に感じ申候は、道路の幅員の、甚だ狹隘なることに候、今之が現狀を述べんに、既認定府縣道にして漸く拾貳尺内外、元郡道九尺町村道六尺位のものにて、しかも自然の中に法敷を削られて、幅員を狭みらるゝが爲、現狀は右以内と見るを當れりとなすべく、自動車はおるか、荷車の往復にも事缺く向の少なからざる有様に候。乍併此の状態は獨り本縣のみにあらず、比々皆然りと謂はざるを得ざるは、

實に遺憾に候。

第三は路面の甚だ低位なることに候、しかも其の低きこと實に著しく、田面の水に比較して、わづかに之を超ゆる位のものに候。本縣下の道路を通觀するに、概ね藥研形を呈して、路肩の堆く盛れたるものが多い。然れば現状かくの如くである故に、安りに田面の水の溢る、様なことはなからうが、路肩の高きは、排水に不便の關係もあり、特に心すべき必要可有之と存候。

第四は橋梁の多數なることに候。本縣は河川の數頗る多く其の縦横に流る、こと恰も蜘蛛の巢に異ならず、之に架設せらる、橋梁も亦實に夥しいものに候、之が維持管理の困難は寔に推察に餘りある次第に候、殊に本縣の如き水害の著しき地方に於て、多數の橋梁を維持することの到底堪え得る所にあらざるは云ふ迄も無いことである、隨つて目下の橋梁維持の状態を察するに、各地方共殆んど持て餘しの實狀に有之、其の構造の如きも甚だ粗雑なものがあり、自動車などでは全く命がけの様な氣分致し候

第五に縣財政と道路費の支出に關することに就て

多額を支出するのみを以て、誇りとすべからざるは勿論なれども此の精神の普及せらるゝに於ては僅少の修繕費の不足するが如きは、殆んど意とするに足らざるべく、本縣現下の状態は、此の點に於ても亦特に他地方に勝れりとも認められざるを、遺憾とするものに御座候。

之を要するに本縣民は道路に對しては、相當の點まで熱心に御座候、されど未だ道路に對する眞正の理解あつてのものとは認められず候、併かし乍ら全縣一致、黨派を超越して本問題に當らんとする態度は推稱に値するものと存候、幸に縣民諸氏にして、永久に此の態度を持せらるゝに於ては、將來道路の改善に見るべきものあるに至るべきを信じて疑はざる次第に候。又道路の認定に就ては、其の目的、漫りに之が普及を計ることのみを以て、本旨とすべきものにあらざりて、其の實質の改善をも念とせざるべからざるは勿論、また法規の關係は云はずもがな、財政の都合等も充分に之を考察に置くの必要可有之、要するに今回の實査線の如きに對しても亦涙を揮つて馬稜を斬るの止むを得ざるものにあらざるを

申述候。本縣の歲計は最近概ね六百萬圓内外にして土木費は總體で其の三萬位を占め、道路費の豫算も相當である。而して縣民の資力も全國の中位以上に位するので、公課負擔の程度も、現下に於ては先づ適當と被存候。たゞ災害土木費の爲に起したる、縣債の現在高が未だ多額に上り居り、之が償還は財政上多少の痛苦と認めざるを得ず候。隨つて之が財政上の影響を受けたるものによ、其の道路費の如きも、新築改築に關する工事は勿論、普通修繕の費用に對してさへも尙充分に之を支出し得なかつた傾き有之候。然れども財政は民力を對象としての問題なるが故に財政上の問題は、民力を充實せしむるに依つて、自ら解決せらるべく、之を培ふものは、一に道路の改善にありと云ふも過言にあらざり存候。然れば適當の計畫の下に於て行はるゝ道路の改善は、多少の重課を忍びても尙努めて之に力を注ぐべきものにして、寸時も躊躇すべからざる問題なることを、縣民の自覺に打込み度と存候。惟ふに經費の不足は、縣民の道路愛護の精神に依つて或程度まで、之を補ふことを得べきものにして、當に費用の

遺憾とするものに候勿々 敬白(西村生)

新潟より

第一信 上野驛出發の際は雨なりしも、朝七時長岡驛着の際は、霽れて幸先よきを喜び候、問題の路線認定實査も超然主義の生等には、あまり苦痛とも思はず、目と耳とを忙がしく働らかせて駆けまはり第一夜を港の町寺泊に憩ひ候。裏日本なる名の爲に、陰慘の豫感を抱きつゝ、來り候も、五月晴れの此の頃却つて東京よりも心地よく覺え候。一葦を隔てて見える筈の懐れの佐渡も霧のため見え、涯なく續く日本海も靜かに眠るが如く唯小さき波のうねりのみ力なく防波堤を敲くのみ、靜寂と申すべきも、唯、修學旅行の小學生と宿り合せ雀の囀るが如き騒々しさに、想も纏らず、詳細は後便に譲り候 頓首

第二信 忙がはしく飛びまはり居り候ため意外の御無音平に御容赦願上げ候。到る處地元人士の昇格に對する熱心なる活動振りは、地方道路改良の自覺を計るパロメーターと見られ意を強ういたし候も唯所謂他人の褌にて相撲とりたがる連中の蔭見せしは